

[令和2年度事務事業]

II. 事業目的の達成状況						
事業の成果や活動実績の測定						
	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標
				令和元年度	令和2年度	令和3年度
11	応急手当についての講習受講者数	人	目標値	-	-	3,000
			実績値	10,649	4,174	10,000
			達成率			
	当該指標を選定した理由	応急手当についての講習受講者数を増加させることは市民による応急手当実施率の向上に繋がるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	これまでの講習会 1 回あたりの平均受講者数を基に、新型コロナウイルス感染症流行による講習中止や人数制限の影響を考慮し算定。				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標
				令和元年度	令和2年度	令和3年度
	応急手当についての講習開催回数	回	目標値	-	-	200
			実績値	523	242	
			達成率			
	当該指標を選定した理由	講習開催回数を増加させることで、市民が応急手当を学ぶ機会を多く提供でき、講習受講者数増加に繋がるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	これまでの年間講習実施回数を基に、新型コロナウイルス感染症流行による中止期間で実施できるはずであった講習の数を差し引いて算出。				

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	救急活動事業	事業番号	090-030
-------	--------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

(単位：千円)

事業費 (a)	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
		決算	決算	予算	決算	予算
13	財源内訳					
	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他（救急業務支弁金）	3,674	3,516	3,800	2,234	3,800
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	28,364	31,122	21,952	38,452	33,942
14	人件費 (b)	2,980	2,960	3,070	3,070	3,070
15	年間経費(c)=(a)+(b)	35,018	37,598	28,822	43,756	40,812

事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	項 目	年度		事業費	うち一般財源	項 目	年度		事業費	うち一般財源
		R2	決算	483	483		R2	決算	291	291
16	報償費	R3	予算	368	368	備品購入費	R3	予算	4,100	4,100
		R2	決算	11,067	8,833		R2	決算		
	需要費	R3	予算	7,474	3,674		R3	予算		
		R2	決算	3,044	3,044		R2	決算		
	役務費	R3	予算	2,300	2,300		R3	予算		
		R2	決算	25,735	25,735		R2	決算		
	委託料	R3	予算	23,500	23,500		R3	予算		
		R2	決算	66	66		R2	決算		
	使用料及び賃借料	R3	予算	0	0		R3	予算		
		R2	決算				R2	決算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

17	区 分		単位	令和元年度	令和2年度
	①	応急手当についての講習受講者数	人	10,649	4,174
	②	上記①にかかる年間経費	千円	900	900
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	85	216
	備考（算出についての説明等）		講習に必要な消耗品費及び人件費。		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	応急手当に関する講習は、ほぼ人件費のみで開催可能であり、費用対効果が高い事業である。また、市民の応急手当普及員を育成することは、人件費をかけずに講習実施回数及び講習受講者数を増加させることが可能で、極めて費用対効果が高いと言える。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	- 救急隊員及び救急救命士の活動の質を向上させたことは、地域医療体制の充実や健康寿命延伸に寄与した。 - 救急需要に対し即応できる体制整備を行ったことは健康寿命延伸に寄与した。 - 市民が応急手当に関する講習を受講し、応急手当の実施率向上を図ったことは、健康寿命延伸に寄与した。
----	---